

2006年6月27日

「インドネシア ジャワ島中部地震」被災者支援についての報告

松原ロータリークラブ

会 長 福田 資人
国際奉仕委員長 岩間総一郎
世界社会奉仕委員長 鵜山 昭雄

2006年5月27日午前5時54分（日本時間同7時54分）ごろインドネシア・ジャワ島中部でマグニチュード（M）6.2の地震があり、ジョグジャカルタ特別州などで多数の建物が倒壊した。最終的には5,800人を超す死者、700を越す学校の崩壊、そして20万人を超える負傷者が出る甚大なる被害を蒙った。

今回、さっそく例会でジャワ島被害の実態を説明して、義捐金を募らせていただきました。松原ロータリークラブ会員各位の義捐金、クラブ国際奉仕活動費、国際奉仕活動特別費用、そして有志の方々からの追加寄付をあわせまして、総額300,000円を持参して、6月23日（金）に在大阪インドネシア共和国総領事館を会長、幹事をはじめ5名の会員が訪問いたしました。

松原ロータリークラブ福田資人会長から被害に対する哀悼の言葉、及び励ましの言葉と共に義捐金を贈呈させていただきました。

Mr HANIF SALIM インドネシア共和国領事（社会文化情報部）から世界各国からの支援を持ちまして、直後の壊滅的な状態から、脱してきております。しかしながら、復興にはまだまだ遠い道のりです。松原ロータリークラブの温かい御支援には心から感謝いたします。いただきました義捐金は、総領事から大使館を通じて現地に送らせていただきます。との言葉をいただきました。

インドネシア ジャワ島住民 にいち早く手をさしのべた奉仕活動について御報告いたしました。

（報告 世界社会奉仕委員長 鵜山昭雄）